広報かじき

No.356
昭和59年 6月号

発行 加治木町
編集 総務課

さみだれ

「うの花の　におう垣根に…」という歌い出しの唱歌「夏は来ぬ」の二番で「さみだれのそそぐ山田に、早乙女(さおとめ)が裳裾(もすそ)をぬらして…」と歌った記憶を持つ人も多いことでしょう。

「さみだれ」は漢字で「五月雨」と書きますが、暦の上の「入梅」は六月十一日で「さみだれ」といえば梅雨期の降雨を指す言葉として使われてきました。

田植えには欠かせない雨。田植機などの点検整備を入念に行い、農作業中の事故防止に努めましょう。

木田の早乙女らが…お田植え祭り（鹿児島神宮）

◈人口22,985人(＋216) 男10,812人 (＋90) 女12,173人(＋126) 世帯数7,860 (＋120) 59. 5. 1現在 ( ) 前月比

〝臨空国際産業都市〟の建設を

国分隼人テクノポリス構想

〝太陽と海と緑の臨空国際産業都市〟の建設をめざす国分隼人テクノポリス構想の実現を図るため、おおよそ六十五年までの間に地域として取り組む主要施策を示した開発計画の説明会が、四月二十四日町議会議員や各種団体長が出席し消防会議室で開かれました。

テクノポリス構想とは、産、学、住が有機的に結合され、地域の豊かな伝統と美しい自然に現代工業文明が調和的に融和した新しい都市づくりを行うものです。

県地域計画課 中野課長の説明を聞く出席者

テクノポリス圏域は二市十二町で構成

テクノポリス圏域は、県土のほぼ中央に位置する鹿児島市、国分市、吉田町および姶良郡全町の二市十二町の範囲で、面積は一千三百十七・五平方キロ、人口は六十九万一千九百九人となっています。

母都市は鹿児島市、テクノポリス区は国分市及び隼人町で、加治木町は母都市とテクノポリス区を結ぶ〝結節都市〟と位置づけられています。

先端技術産業の導入と拠点都市の建設を

開発計画では、陽光あふれる豊かな自然に恵まれた南方性、わが国の南のゲートウェイ鹿児島国際空港、先端技術産業の先行集積及び南九州の中核都市鹿児島市の高次都市機能を生かし、太陽と海と緑の臨空国際産業都市の実現をめざすことを目標としています。

そして、この目標を達成するための基本的方策として

第一に、高度技術に立脚した産業の展開による地域経済の活性化を図るため、先端技術産業の導入展開と地域産業の技術高度化を進める。

第二に、本県における高度技術に立脚した産業の展開を図るうえで、拠点的役割を担う都市を建設する。

第三に、テクノポリスの建設にあたっては、県、市町、関係各種団体が一体となり、産業・学術・行政の緊密な連携のもとに主体的に取り組むことをあげています。

加治木団地などの活用を図る

結節都市の整備については、母都市などへの通勤者の居住地域として、加治木団地や、姶良ニュータウンなどの活用を図るとともに今後の住宅用地の需要動向に適切に対応しながら、良質な住宅用地の整備を図るとしています。

また、快適な居住環境をもつ近代的な都市として整備するため、区画整理や街路など都市計画事業を推進する。良質な生活環境の確保と鹿児島湾奥の水質保全を図るため、広域下水道を整備することなどがあげられています。

その外、鹿児島市やテクノポリス区、その他県内各地域への流通サービス機能を供給する役割をもつ各種倉庫、配給センター、クリーニングなどの都市サービス産業や食品加工業などの立地を図る流通加工団地の建設や、海浜レクリエーション地区の整備を図るとともに、テニスコートやプールなどのスポーツ施設を有する広域施設としての厚生年金健康福祉センターなどを建設することにしています。

国分上野原テクノパークの建設など

国分隼人テクノポリス区の開発の主なものは次のとおりです。

▽中核的工業団地の建設

国分隼人テクノポリス地域における中核的工業団地として交通、労働力などの立地条件に恵まれ、すぐれた景観をもつ国際級の工業団地「国分上野原テクノパーク」（面積八十五ヘクタール）を建設する。

また、この「上野原テクノパーク」内に研究開発型企業などの展開の場となる異業混合団地を建設する。

▽新都市センターの建設

臨空国際産業都市のシンボル施設として、産業情報交流など各種の中核的機能を備えた「新都市センター」を建設する。

▽交通基盤の整備

鹿児島国際空港のいっそうの拡充整備、九州縦貫自動車道の早期完成を図る。

・空港ターミナルの拡充整備

・臨空業務団地、農産物輸送基地などの建設

・東九州縦貫自動車道（大隅縦貫道）の早期実現

・空港～テクノポリス区～母都市を結ぶ交通網の整備

▽市街地の整備・都市施設の整備

新都市テクノポリスにふさわしい市街地形成、都市機能の充実を図る。

――鹿児島湾奥西部地区
広域下水道整備計画――

整備内容　全体計画処理人口　76千人
　　終末処理場　1か所
　　幹線管渠
　　面整備　約240ha
実施時期　昭和61～65年度（全体計画の一部）

あなたの住んでいるところは安全ですか

6月は「土砂災害防止月間」

梅雨は間近

伊部野トンネルなど危険箇所を点検

梅雨期を間近かに控え、災害を未然に防止しようと五月二十二日町防災会議（東國雄会長、委員十六人）が、消防会議室で開かれました。

町長をはじめ、関係者は大雨時決壊の恐れのある日木山川や、伊部野トンネル、町営温泉付近、湯湾岳など危険箇所を点検し、土石流や山腹崩壊が起こらないよう対応策を検討しました。

危険箇所を点検する防災会議委員

土砂災害を生む大雨

植木鉢とか庭に土を盛り上げ、そこに水を注いでみましょう。

はじめは、水がみるみるうちにしみ込んでいきます。しかし、水を含みきれなくなると、土は崩れ始めます。土砂災害はこうして起こるのです。

土砂災害なんて無縁のもの、被害に逢った人のほとんどがそう思っていたはずです。

ところが、雨がしばらく続いたある日、突然に――。

地面が崩れるとはふだんだれも思っていません。しかし、台風や梅雨などで雨が一時に多量に降ると、いつもは水の少ない沢から土砂が流れ出したり、ふだんは丈夫そうに見えるがけが、崩れ始めます。雨で地盤がゆるむためです。

がけ崩れ

「がけ崩れ」は、勾配（こう）が三十度以上の斜面に、多く発生しています。割れ目が多かったり、水が流れていたり、上部がせり出しているようながけは、崩れやすいがけといえます。

がけ崩れは、地すべりと同じで、雨ばかりでなく、地震でも起きます。しかし、ふだんから次のようなことに注意していれば、予防できます。がけの周囲で危険だなと思われる箇所があるときは、役場都市計画課にご相談ください。

- 雨水などをがけに流さないようにする。
- がけの周囲の水路を掃除し、水をためない。
- 風に揺れて、その根が地盤をゆるめるような大木は切り取る
- 崩れそうな土のかたまりは、あらかじめ取り除く。
- 崩れそうな箇所は柵（さく）などで補強する。
- ビニールなどで覆い、水ががけにしみ込まないようにする。

地すべり

山などの斜面の一部がすべり落ちる――これが「地すべり」です。

「がけ崩れ」に似ていますが、地すべりは、元の形をある程度保ちながらゆっくりと、しかも継続的に崩れるものであるとされています。

地すべりを引き起こすものとしては、雨水のほか、雪どけ水、地震などが挙げられます。

また、斜面の端から土砂を取り除いたり、斜面の上部に盛り土をするなど、手を加えることも地すべりの引き金となります。

土石流（どせきりゅう）

雨を含みきれなくなった多量の土砂が、急な谷を流れ出すのが「土石流」です。「山津波」とも呼ばれます。突発的に起こるため、大きな被害をもたらします。

一時間に二十ミリ以上の強い雨が降ったり、降り始めてから降雨量が百ミリを超えるようなときに発生しやすくなるといわれています。

急に雨が強く降ったり、長く続くときは十分注意してください。

がけ地近接危険住宅移転事業

がけ地の崩壊、土石流、なだれ及び地すべりなどによって、町民の生命に危険を及ぼす恐れのある区域内に建っている危険住宅を安全な場所に移転を促進するため、国県及び町が助成を行う制度です。

危険住宅の撤去費及び移転などに要する費用（一戸当たり補助限度額六十三万円）や、危険住宅に代わる住宅の建設（購入を含む）のため、金融機関から融資を受けた場合、借入れ金の利子相当額（一戸当たり補助限度額二百五十六万円）が助成されます。

詳しくは、役場都市計画課までお問い合わせください。

＝キノコの森やキャンプ場など＝
楽しい施設がいっぱい
県民の森オープン

加治木町と姶良町、溝辺町にまたがる烏帽子山系の長尾山の南西ふもとに建設していた〝県民の森〟が、五月二十七日オープンしました。

これは、第三十五回全国植樹祭の記念事業の一環として五十五年度から造成していたものです。

広さは約二百ヘクタール。姶良町側には森林学習展示館、キノコの森、山菜の森、フィールドアスレチックやキャンプ場、スーパースライダーなど、学習、生産、訓練、レクリエーションの施設があります。

溝辺町側には植物・緑化の啓発のため、緑化センター、樹木見本園、芝生広場、自然薬草の森などのほか、保健休養機能を備えた生活環境保全林もあります。

県民の森は、県民にレクリエーションの場を提供し、森林愛護の思想を高めてもらうのが目的で、多くの人の利用が望まれます。

県民の森へのお問い合わせは、鹿児島県民の森管理事務所（〒八九九－五五　姶良郡姶良町北山字牟田山　森林学習展示館内　電話〇九九五六－八－〇五五七）へ。

県民の森の位置図

開園した県民の森（中央広場）

第三十五回全国植樹祭に
ご臨席の天皇陛下を奉迎

12年ぶりに天皇陛下をお迎えして

第三十五回全国植樹祭は、五月十九、二十日の両日、天皇陛下をお迎えし、姶良町でお手まき行事が、また牧園町で植樹行事が行われ一万五千人が参加しました。

天皇陛下は、五月十九日姶良町の県民の森で行われたお手まき行事にご出席のため、九州自動車道加治木インターチェンジから県道を経由し溝辺町へ向かわれ、加治木町をお通りになりました。

加治木インターチェンジ附近では約四百人の町民が、十二年ぶりに鹿児島県を訪問された天皇陛下を奉迎しました。

農業委員会委員選挙
投票日は七月十五日

任期満了に伴う町農業委員会委員の選挙は、七月十日告示され十五日投票が行われます。

農業委員選挙は、投票所が変わるところがありますので間違いのないようお願いします。

▽投票日

五十九年七月十五日（日）

午前七時から午後六時まで

▽投票出来る者

一、農業委員会委員選挙人名簿に登録されている者

二、年齢二十歳以上の者（五十九年三月三十一日現在）

三、町農業委員会の区域内に住所を有する者で、十アール以上の農地につき耕作の業務を営む者、および同居の親族、または配偶者であって、年間おおむね六十日以上耕作の業務に従事していると農業委員会が認めた者。

▽不在者投票

業務に従事中、またはやむを得ない用務のため投票日に不在の方は、告示日から投票前日まで不在者投票が出来ます。

毎日、午前八時三十分から午後五時までです。

▽投票所

第一投票所　町福祉センター
第二　〃　幸和寮
第三　〃　木田三地区公民館
第四　〃　永原小学校
第五　〃　ひなば公民館
第六投票所　旧鎮守小学校
第七　〃　西浦公民館
第八　〃　川内公民館
第九　〃　旧竜門中学校
第十　〃　旧中野小学校

仕事着のままで
気軽に投票所へ
町選挙管理委員会

立候補予定者の届け出事務説明会を

町選挙管理委員会では、任期満了に伴う農業委員会委員選挙の立候補予定者に対する届け出事務の説明会を開催します。

候補者の心得及び届け出関係書類などを配布しますので、予定者は出席してください。

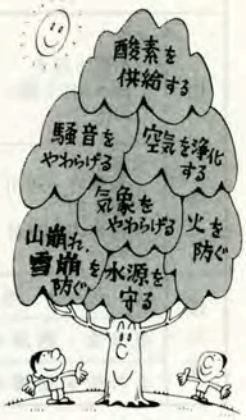
◎日　時
五十九年七月二日　午前十時から
◎会　場
役場第一会議室（北庁舎二階）

心配ごと相談

毎週木曜日　午前中
福祉センターで
応じています。
お気軽にどうぞ。

わたしたちの"緑"大切な"緑"

国土緑化運動



もし森林がなくなったとしたら――いたる所で山崩れや洪水が起き、空気は汚れ、そして酸素がなくなってしまいます。

森林が大地に根をおろし、枝いっぱいに葉を広げ、呼吸している、つまり生きているからこそ、わたしたちも生きていられるということを忘れてはなりません。

これから夏に向かって緑の一番美しい季節――。県民の森も五月二十七日オープンしました。

この機会に"緑の効用""緑の重要性"について考えてみましょう。

酸素を作る"緑"

植物が空気中の炭酸ガスを吸って酸素を吐き出すことはよく知られています。

これは、植物の緑が光合成（太陽のエネルギーを使って、水と炭酸ガスから糖やでんぷんなどを作る）するとき、いっしょにできた酸素を外に吐き出す作用があるからです。

空気中の二酸化炭素を酸素に戻すことは、植物による光合成でしかできません。

ですから、産業が盛んになり、ガソリン、石油、石炭などを燃やして酸素を消費することの多くなった今、酸素を作り出す"緑"の重要性はますます高くなったと言えるでしょう。

天然のエア・クリーナー

森林の効用で意外と知られていないのが、空気をきれいにすることです。

植物は葉の裏側にある気孔で呼吸します。そのとき、亜硫酸ガスなどの有害なガスもいっしょに吸い込み、葉の中に硫黄などの物質を蓄える性質があります。

また、空気中のほこりやばい煙は葉や幹に付着し、雨が降ると地面に流されてしまいます。

特に、空気の汚れた都会や工場地帯では"空気のエア・クリーナー"として、緑の果たす役割は非常に大きいといえます。

騒音をやわらげる

「森閑とした…」という表現のあるとおり、森林や木に覆われた公園の中は静寂そのものです。

これは、重なり合うように生いしげった木の葉が、囲りの騒音をさえぎっているからです。

最近は、乗り物や工場から発生する騒音が公害の一つに数えられるようになり、森林のもつ防音の働きが大変注目されています。

このほか、わたしたちの環境を守る"森林の効用"には次のようなものがあります。

▽気象をやわらげる

真夏の木かげは、強い日差しをさえぎり、大変涼しいものです。

一方冬も、森林の中は外に比べて摂氏一度近く気温が高いことがわかっています。

このほか、森林には家屋や農作物を強い風や砂から守る「防風林」としての役割もあります。

▽水源を守る

川の流域に森林があると洪水や干ばつが起こらないと言います。

これは、森林の中の木の葉、落ち葉、こけ類や、その下にある海綿のような土が、降った雨を蓄え一度に川に流れ込むのを調整してくれるからです。

▽山崩れ、雪崩を防ぐ

わが国は山地や傾斜面が多く、その上、雨量や積雪量も多いため、山崩れや雪崩といった災害が起こりやすくなっています。

傾斜面に根をおろした森林は、土や石、あるいは雪をしっかりとつかみ止めてくれる、いわば"天然のくさび"といえるでしょう。

緑を増やそう

日本の国土は三分の二が森林…この数字だけを見ると、わが国は世界有数の森林国ということになります。

しかし、国土が狭く人口も多いため、国民一人当たりの森林面積はわずか〇・二三ヘクタール。

これは世界平均の五分の一にしかすぎません。

このように、森林の絶対面積の少ないわが国では、単に森林を維持保存するだけでなく、積極的に"緑"を増やしていく必要があります。

わたしたちの緑、大切な緑が街中にあふれるようご協力をお願いします。

ふくしの窓口 ⑮

老人・身障者の希望者に『浴場保養券』を交付

町では、老人と身体障害者の健康増進をはかるため、町内の六十五歳以上の老人および身体障害者の方に「公衆浴場等保養券」を交付しています。

本年度から、従来の全員配布を改め、浴場などを利用希望の方に交付することとしました。

福祉課でお受取りください。

□対象者…六十五歳以上の者十八歳以上の身障者手帳所持者

□保養券交付…保養券の受領は、本人あるいは家族、お隣りの方でもよろしいです。

□必要なもの…印鑑をご持参ください。

□交付枚数…保養券は、一人一年間に二十四枚です。

□注意…保養券の使用は、本人に限ります。他人に譲渡したり、他人の券を使用しないこと。

薬草園芸教室など

社会教育学級を開講

五十九年度の社会教育学級の開講式が、四月二十五日福祉センターで行われ、薬草園芸教室や、書道教室など十四の学級に申し込みをされた四百八十人余りが出席しました。

乙須教育長は「世の中の移り変わりが早く、自分自身や、生きがいを見失ないがちです。生きがいを作りあげ、楽しい社会を作りたいものです。仲間といっしょに楽しく学習してください」とあいさつしました。

また、坂元社会教育課長から学級開設方針の説明と各学級の講師紹介の後、水俣市・源光寺の中村将顕住職が「信仰と生きがい」と題して講演しました。

中村先生は「昔の人は、人間として生きてゆかなければならない以上、やらなければならない事を命がけで守って来ました。

しかし、今はこの一番大事な人間性が忘れられています。

少年の非行の形も変わり、人を殺しても何とも思わない時代になっています。

何よりも大事なことは、生きがいを持って今を精いっぱい生きることです。

青少年のために高齢者のかたがたが、人としてやらなければならない事を行い、今を正しく生きていただきたい」と話されました。

社会教育学級は、本年度から薬草園芸教室と、狂句教室、暮しに役立つ電気教室の三つの教室が新しく開講され、内容も充実されています。

入学の喜びを胸に

標準小作料を改訂

標準小作料は契約小作料の目安として定められ、三年ごとに改訂しており、三月二十九日付で次のとおり改訂されました。

貸主・借主双方話し合いの上で、円満な小作関係が維持されるようお願いします。

（農業委員会）

農地の区分			小作料の標準額	備考
田の部	大字 木田・反土 日木山(下場)の田	上田	22,000円	水稲・10a当収量 450kg
		中田	17,000円	〃 400kg
		下田	12,000円	〃 350kg
	大字 西別府・辺川 小山田 日木山(上場)の田	上田	21,000円	〃 440kg
		中田	16,000円	〃 390kg
		下田	12,000円	〃 350kg
畑の部	楠原台地の畑		11,000円	甘しょ・10a当収量 2,500kg
	市来原・西浦台地の畑		10,000円	〃 2,250kg
	その他未整備地区の畑		9,000円	〃 2,000kg

（10a当たり標準額）

郷土史探訪 12 龍門司焼

島津義弘は朝鮮の役を終え、慶長三年陶工を連れて帰国しました。

その中の金海と芳仲が、義弘と共に加治木に移り、金海は義弘の死後家久に従って鹿児島に移りましたが、芳仲は加治木に居て龍口坂窯、吉原窯を開き、その陶嗣が加治木城南麓の山元に窯を開いて、そこの地名にちなんで山元という姓を与えられ山元碗右衛門といいました。

その後湯の谷窯に移り、元禄元年小山田に窯を開きました。

これが龍門司焼の起りです。

現在ある龍門司窯は、享保三年ごろの創設といわれ、県指定文化財になっています。

文化十年、四代碗右衛門の死去で山元家は断絶しました。

川原軍次さん

しかし弟子川原芳工が伝統を継いで研究し、肥前、京都、尾張などの技法を取り入れて製陶に従事し、その子孫に多数の名工を出しました。

昭和三十年、現在地に新窯を築き、現在川原軍次氏を組合長に、龍門司焼の伝統を生かし三彩、鮫肌、黒物などすぐれた焼物を出しています。

この中で三彩は、そのすぐれた陶法を認められ、川原軍次氏はその技術保持者として県の無形文化財に指定されています。

（瀬川　新義）

龍門司焼

源氏山（寺尾改め）十両入り
三兄弟が関取に

小山田出身の井筒親方（元関脇鶴ケ嶺関）の三男寺尾改め源氏山（本名福薗好文二）の十両昇進が、五月二十三日に行われた番付編成会議で決まりました。

井筒部屋の力士は二十六人で、半数以上は鹿児島県出身者です。

新番付では逆鉾、陣岳、霧島に加え源氏山、薩洲洋の五人の関取を擁する部屋となりました。

井筒三兄弟の長男福薗は、肩の脱きゅうを乗り超え三段目で全勝優勝し、また二男の逆鉾も上位で八勝七敗と勝ち越しており、三男源氏山の十両入りと合わせ井筒三兄弟の今後の活躍が楽しみです。

▽源氏山の略歴

五十四年名古屋場所が初土俵。

一八四センチ、九十七キロ。

得意は突き、押し。

竹之内ジャイアンツが優勝
町ソフトボール協会夏季大会

町ソフトボール協会主催の夏季大会が、五月十三日町営グラウンドで十四チームが参加して行われました。

優勝した竹之内ジャイアンツは八月に行われる郡民体育大会に出場します。

結果は次のとおりです。

一回戦

球友2－1役場、クリーン7－0須崎、無邪気7－3ファイターズ、合庁11－0プリンス、フラッシュ7－0セントラル、役場クラブ7－0警察署

二回戦

竹之内鈑金5－1球友、クリーン8－0無邪気、竹之内ジャイアンツ7－2合庁、フラッシュ9－5役場クラブ

準決勝

竹之内鈑金　2－1　クリーン

竹之内ジャイアンツ10－0　フラッシュ

決勝

竹之内ジャイアンツ2－1竹之内鈑金

◎Aクラス

優　勝　竹之内ジャイアンツ

準優勝　竹之内鈑金

◎Bクラス

優　勝　フラッシュ

準優勝　役場クラブ

9チームが熱戦を展開
一般女子バレーボール大会

一般女子バレーボール大会（町教育委員会主催）が、四月二十九日町営体育館で行われ練習を積んで来た九チームが参加しました。

結果は次のとおりです。

▽Aクラス…**優勝**加治木スポーツクラブ、**二位**柁城クラブ、**三位**妃蕊（ロゼ）薔薇（ローズ）

▽Bクラス

優勝コスモス、**二位**コアラーズ、**三位**錦江フレンド

Aクラス優勝の加治木スポーツクラブ

Bクラス優勝のコスモス

七〇人あまりが集い
創立一周年記念大会が
加治木フォークダンス協会

県内で三番目の協会として、昨年五月発足した加治木フォークダンス協会（松田逸郎会長、会員四十五人）では、創立一周年を記念し五月二十日柁城小学校体育館で大会を開きました。

大会には宮崎や熊本から、七十人あまりが参加し、「娘さん踊りましょう」「ヤイン」など四十九曲を踊り、楽しく交流しました。

奥さんと一緒に初めて参加した佐藤新平さん（五七・内原田）は、「足がいうことを聞いてくれずリズムに乗れない」と話しながらもいつしかみんなの輪の中に入り、ステップを踏んでいました。

また、岡元かおりさん（柁城小学校・六年）は、お母さんと一緒に協会の発足時から練習しており「今日の四十九曲は、全部踊れますよ。とても楽しい」と、大人に交じり軽やかに踊っていました。

指導されている久永享先生は、「会員の皆さんはすばらしい上達ぶりで、六十曲以上の踊りをマスターされています。欲を言えばもっと男性の参加が欲しいですね。」と話されました。

協会では、六月十九日まで毎週火曜日午後七時から初心者講習会を開いています。

興味をお持ちの方、柁城小学校体育館を訪ねてみませんか。

踊りの輪に友情も広がる

町税は納期内に納めましょう。

今月は町民税第一期の納期月です。

人間味あふれる看護婦に

加治木女子校戴帽式

加治木女子高校（常常秀校長、生徒数四百十七人）の第九回戴帽式が、五月九日町福祉センターで行われました。

戴帽式では、衛生看護科二年生の犬童かおりさんら百四人に、真新しい白帽が常校長から渡された後、代表の濱砂美由紀さんが「今日の感激を忘れることなく、人間味あふれる看護婦となるよう力いっぱい努力します」と、誓いのことばを述べました。

また、点火されたキャンドルを手に、全員でナイチンゲール誓詞を読み上げました。

身の引きしまる思いが

稚あゆ五万匹を

宇曽ノ木川に放流

網掛川漁協（吉薗清組合長、組合員八十三人）では、釣り人に楽しんでもらおうと、今年も五月九日稚あゆ五万匹を辺川で放流しました。

この稚あゆは四月末から、網掛川の田中堰で採捕したもので、体長四㌢から五㌢のものです。

宇曽ノ木川上流の辺川（川原田橋）で放流された稚あゆは、川底に石が多いため成長が早く解禁のころには二十㌢から二十五㌢の大きさに育つそうです。

〝あゆの解禁〟は宇曽ノ木滝から上流が七月一日、下流が六月一日となっています。

釣りや投げ網には必ず鑑札が必要です。

マナーを守って楽しい釣りを楽しみましょう。

鑑札は、本町の佐藤釣具店で販売しています。

放流する組合員

親ぼくと健康づくりを

錦江第3地区運動会

地区民の親ぼくと健康づくりを目的に、錦江第三地区公民館（岩崎貞光館長、六百四十一世帯）主催の第九回運動会が、五月十三日加治木小学校用地で行われました。

集まった幼児からお年寄りまで五百人は、午前中の雨も吹き飛ばし、みんなで走ってみよう、ぴんたおし、宴会帰りや、五百歳リレー、親子リレーなど二十の競技を楽しんでいました。

呼び物の「宴会帰り」は、折り詰めを手に、下を向いて五回程回ってから走るもので、中にはコースから大きくはみ出す人や、足元がふらつき思うように走れない人もあり、テントの観客は大笑いしながら声援を送っていました。

「宴会帰り」は足元がふらつく？

青少年の豊かな心を育てよう ⑭

地域ぐるみで自立自興運動を推進しよう（その2）

「自立自興運動」は、次代を担うぬくもりにみちた偉大な郷土鹿児島の創造に、重要な役割を果たす青少年の自立自興の精神をかん養し、健全な育成を図るため、郷土に伝わる教育の伝統と風土を生かし、四つの基本理念による自主的な青少年活動の普及、促進を図ることを目的としています。

活動内容の具体的な例

ア、学習活動として
読書会、意見発表会、討論会、見学、視察など

イ、社会参加の活動として
公民館など公共施設の清掃、福祉施設の訪問（慰問、清掃など）、案内標語の設置、コミュニティづくりなど

ウ、文化活動として
伝統芸能の継承、新しい郷土芸能の創造、歌、踊り、絵画、習字などの練習など

エ、集団野外訓練活動として
キャンプ、長歩行など

オ、スポーツレクリエーション活動として
各種スポーツ、トラッキング、オリエンテーリングなど

本町では、五十七年度と五十八年度の二年間、錦江第三地区と西別府地区の二地区を青少年自立自興運動モデル地区に指定し、地区内の小学生四年生以上と、中学生を対象に、青年団や地区のかたがたのご協力を得て活発な活動を進めてきました。

五十九年度からは他の地区をモデル地区に指定し、活動を推進していくことになりました。

〝成績だけで　子供の能力を決めるな〟

＝鹿児島の子供
しつけ十二章より＝

違いがわかる 手もみのお茶を

こうばしい新茶の香りが五月の風に運ばれてきます。

小山田・伊部野の日高功さんの庭先では、今年も自家製のお茶作りの作業が始まっていました。

鮮やかな新緑の生葉をかまでいり、手でもんで、竹で作られた茶取りせいろに乗せ、炭を使って乾燥させる――。自宅で使うお茶は全て手作りで、「今年は、雨が少なく茶の出来が良かった」とか。

竜門小学校五年生の三友君も、もらったお茶などを出すと「うちのお茶じゃない」と言うほど〝違いがわかる男〟（？）だそうです。

薬を使わない自然食品のおいしいお茶を味わいながら、親子の会話も弾むことでしょう。

自家製のお茶づくり

全国書道検定に 合格

日本教育書道連盟主催の検定試験が、三月三十日行われ次のかたがたが合格されました。

▽一般部（高校・大学・一般）

◎漢字科（最高段位は八段）

八段　肥田　栄
七段　稲留ヒロ子
六段　古城ミヨ
五段　湯川武雄
三段　竹内雪子　森　隆義
二段　恒吉　功　西　武夫
　　薬丸テル

◎かな科（最高段位は八段）

七段　宝蔵　保
六段　肥田　栄
四段　梅木テル
三段　宝蔵涼子

▽教育部（小中学生）

二段　田中ともみ
初段　伊藤ゆかり　山下　誠
　　川原慶子　権現免マリモ
　　日高律子　有村浩一
　　橋本百代　池畑知己
　　川上倫子　中畠聡子
一級　橋本成代　田辺陽子
　　桃木野寿　鶴園　恵
　　神宮達也　今薗美保
　　猪俣裕美　徳永英敏
二級　日高康弘　今村真理子
　　中島正義　山下かえで
　　神宮直樹　古市志信
　　一氏清子
三級　青木ゆかり
　　樋口洋一　有村加代子
　　山下祐子　松林浩美
　　増田香織　田辺博昭
四級　犬童純一　蓬原則行
　　稲留大輔
（五級以下省略）

竜門の会

木洩れ日の影やはらかく楠の花　井之上透山
夏兆す娘は前髪を切りそろへ　横山　江南
相部屋に戻る病や初浴衣　川崎　黒兎
野海棠（のかいどう）いま半開の霧（きり）しづく　能勢真砂子
渦いくつ渡りて島の新樹光　古江　重美
万緑や内なるものの燃ゆるごと　高木　正男
花蜜柑十日の月は中天に　鶴田　耕
葉桜の囲む天守や鳩の群　加藤　白柳
老鶯のふた声残し暮れそめぬ　上野　光
野路うらら海へ母と子手つなぎて　柳田　稔

記事訂正とお詫び

五月号の三ページ「行政連絡員に辞令を交付」の記事に脱漏がありました。深くお詫びし訂正します。

西ノ原　向井重利　五〇世帯

薬草 知られざる効き目 ⑨

うめ

やがて梅の季節、梅は日本に定着して千数百年になり、万葉の歌集にも八十九首ほどあります。

素朴な食べ物ながら、日本人の生活に密着しています。

朝、湯呑みの中で梅干し一個をつきほぐし、しょうゆを一滴たらして、お茶をかけて飲むと気分そう快、今日一日の活力となり、諸病を追いはらいます。

梅じょうちゅうをつくるとき中の白い実を二十個ほど取り出しいっしょにつけこむと、風味が倍加します。

梅じょうちゅうは、虫歯と切り傷につけると、ピタリと痛みがやみ、夏、うすめてジュース代りに飲むと夏負けしません。

しそを使わない梅干しの梅は、糖尿病に効果があるそうで、その梅酢は、漬物をつくるとき、まぶすようにかけるとカビが生えず保存がききます。うすめて飲むと、コレステロールをとり除き、高血圧に効き目あり、といわれています。

梅干しつくりのコツは「梅一升に塩三合、三日三晩の土用干し」といわれていますが、精製された塩は、サラサラと底にこぼれてしまい、上の方がくさってしまいますので、あら塩をおすすめします。

今年は梅の裏年、実は少ないですが、効き目は大きい……。

梅の種は、即効性の精力剤とか。さりながら、ご乱用はおつつしみあれ……。

梅干すや
庭にしたたる
紫蘇の汁　子規
（筆者　上萩大治）

※無断転載は、ご遠慮ください。

お知らせ

鉄道へのいたずら事故を防止しましょう

鉄道妨害とは、人や車が汽車や電車の安全運転を阻害する事故のことで、例えば踏切で自動車が一時停止せず、直前横断したり、近道のため鉄橋や線路を通行して汽車を止めたり、あるいは子供たちが線路に石や物を並べたりするいたずらなどを言います。

これらの妨害のうちで最も多く危険なのが踏切事故です。

昨年鹿児島鉄道管理局内で発生した妨害件数は百十八件で、そのうち踏切事故は三十四件で二十九％を占め、また、子供などのいたずらと思われる置石などが三十件で二十五％となっています。

踏切事故については、ドライバーの皆さんに道路交通法を守っていただき、踏切手前でいったん停止して左右の安全を確認することで、また、子供のいたずらなどについては、子供たち自身の危険を防止するうえからもお母さん方に〝チョット注意〟をしていただくことで大半は防げると思います。

皆さんのご協力をお願いします。

無料人権法律相談

鹿児島地方法務局加治木支局のほか、次の人権擁護委員が自宅でも相談に応じています。

お気軽にご相談ください。

秘密は固く守られます。

宮城俊治　港町一三一番地一二一（電話三一三七八七）
田中重男　仮屋町六四（電話二一二二六〇）
中摩多美子　反土二七五六（電話二一二七六八）

市外電話番号のお問い合わせは

市外局番に続けて一〇四番

これまで市外電話番号の問い合わせは一〇五番でしたが、現在は全国どこでも「市外局番に続けて一〇四番」で問い合わせ先の局が出ますので、いったん加治木局で待たされることなく直接市外の電話番号を聞くことが出来るようになりました。

料金は無料です。

市外局番は、電話帳に掲載されていますのでご活用ください。

例えば、鹿児島市内の電話番号を知りたい時は「〇九九二一一〇四」をダイヤルすると、鹿児島の局が出ますからそのままお尋ねください。

更生相談

毎週水曜日
九時から正午まで
福祉センターで……。
お気軽にどうぞ。

郡山　和明　千早　春日団地
恒吉　智仁　照三　今町
前田　大作　稔　井手向
肥後　理江　弘次　東塩入
牧元　理　章　東諏訪
森永悠記子　幸平　小鳥
脇　哲也　和也　柳田
鈴木　友子　静香　南塩入
木佐貫晋一　博孝　蔵王団地

▽五月二十日までに住民票に記載された分を掲載いたしました。

うぶ声

出生児　保護者　自治会
福永　ゆか　孝雄　江口団地
小濱　陽子　嘉弘　端山
永田　智也　純治　垂ノ口
前田　恵理　益男　札立
坂下　裕作　克俊　西ノ原
武井　優太　敏也　今町

ご寄付

香典返しのかわりにご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げますとともに故人のごめい福をお祈りいたします。（　）内は故人。

＝町社会福祉協議会へ＝

二万円　東諏訪　中島　清（娘鈴子五〇）
二万円　須崎　伊集院ユキエ（夫政治七五）
五万円　浜村　牧瀬又徳（妻フサ五九）
一万五千円　西ひなば服部照雄（母川野ヨシ八八）
二万円　萩原　田代末子（夫正直七八）
五万円　城　城内　清（妻シズエ七七）
三万円　萩原　美坂玉子（夫操八二）
三万円　岩原東　中村千代子（夫正道六九）
二万円　西塩入上　中原勇雄（母ミヤ八〇）
十万円　下浜　町田正子（夫實秀八二）
五万円　下新道　原口繁年（母ソエ八〇）
一万円　下新道　宮永　弘（父栄治八九）
三万円　垂ノ口　石野妙子（夫彰義八四）
二万円　上東木　中野　昇（母アイ七七）
一万円　垂ノ口　坂本ヨシエ（夫進七四）
二万円　南塩入　上野年子（母ヨ子八三）
十万円　口ノ町　樋高トシ子（梅山一春四三）
三万円　岩原東　木場幹夫（母サキ七八）

＝町育英奨学資金へ＝

五万円　下浜　町田正子（夫實秀）
二万円　須崎　伊集院ユキエ（夫政治）

＝町老人クラブ連合会へ＝

三万円　西塩入上　中原勇雄（母ミヤ）

▽五月二十日までのご寄付を掲載いたしました。